

# 千葉県南房総市白浜地区 あまビジョン 資料編

白浜海女まつりの様子（千葉県ホームページより）

令和3年10月

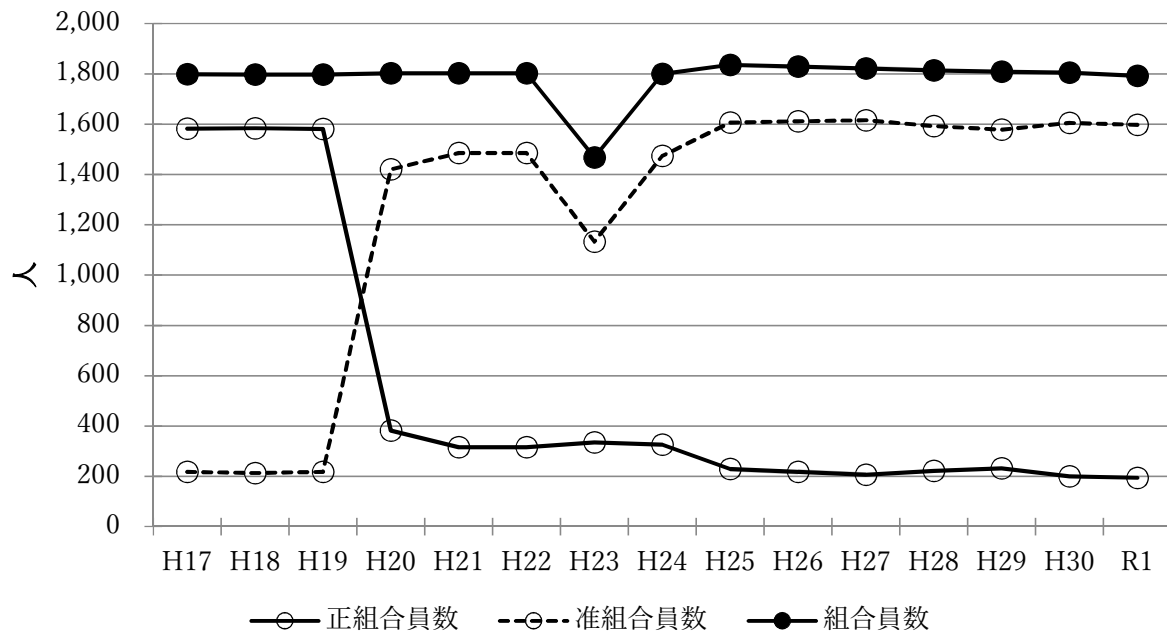
白浜町あま連絡協議会  
東安房漁業協同組合  
南房総市 農林水産部 農林水産課  
千葉県 農林水産部 水産局 館山水産事務所



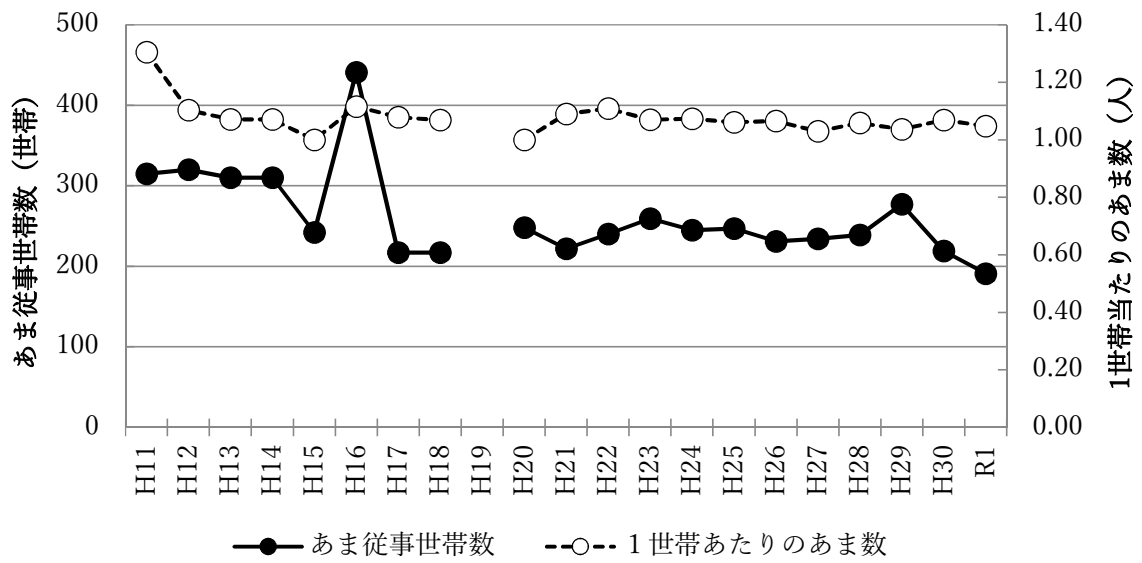
(図1) 白浜海女まつりの様子

白浜地区のあま漁業は地域に深く根差した文化として受け継がれてきた。

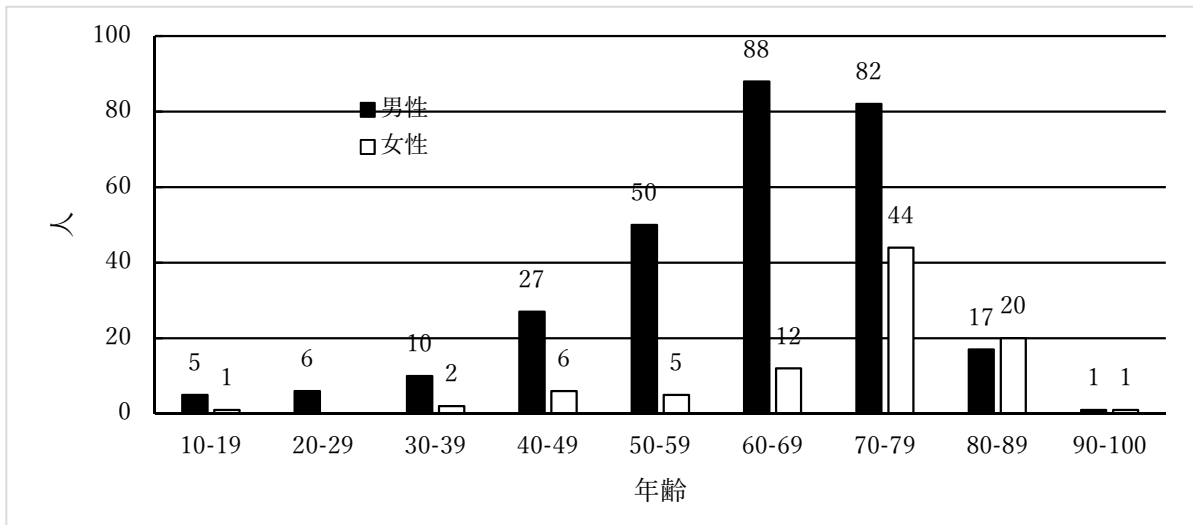
千葉県ホームページより



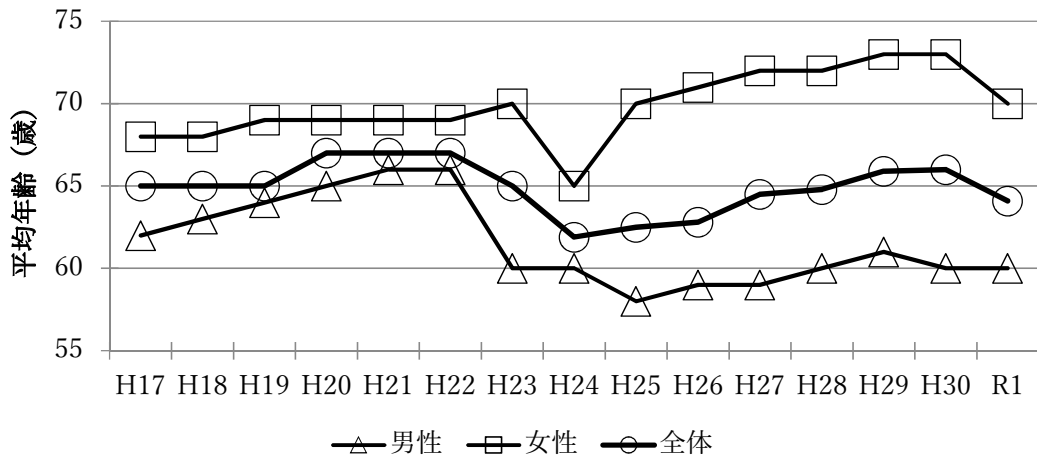
(図2) 白浜地区における組合員数 (南房総市の水産)



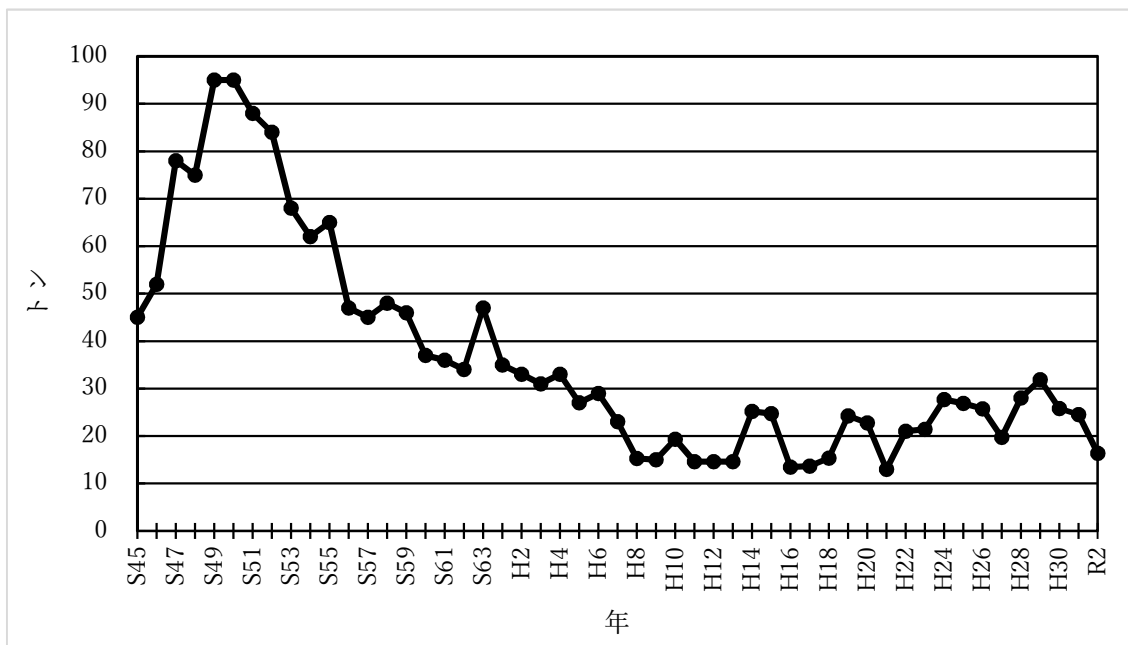
(図3) 白浜地区におけるあま漁業従事世帯数 (千葉県調べ)



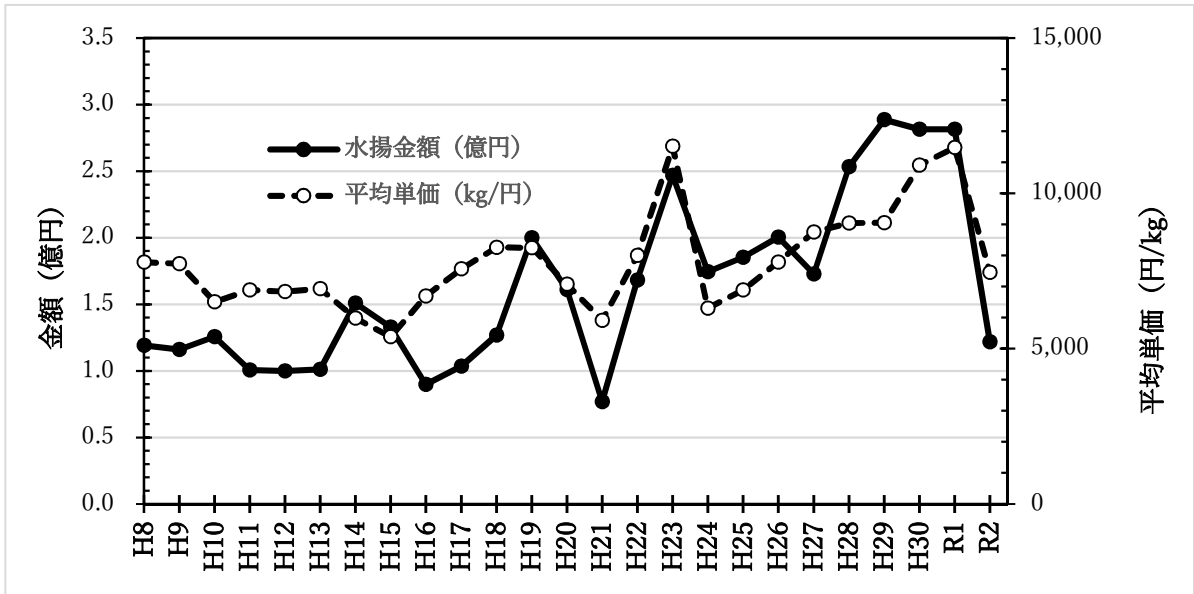
(図4) 令和3年3月の白浜地区における男女別年齢別あま漁業者数 (白浜出張所調べ)



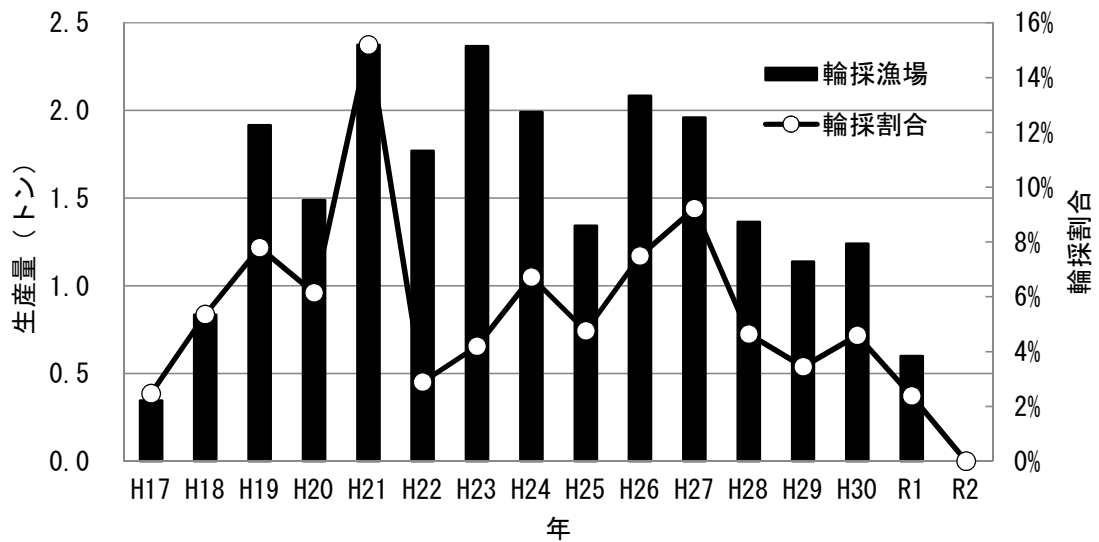
(図5) 白浜地区あま平均年齢



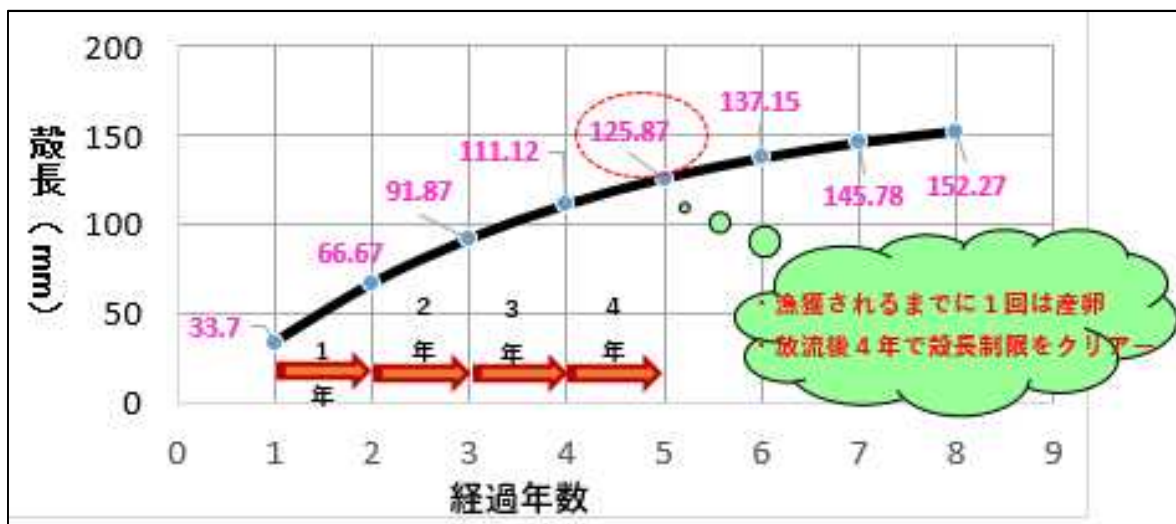
(図6) 白浜地区のアワビ生産量 (輪採漁場を除く。昭和45年から平成7年までは千葉県農林水産統計年報、平成8年から令和元年までは南房総市の水産、令和2年度は白浜出張所調べ。)



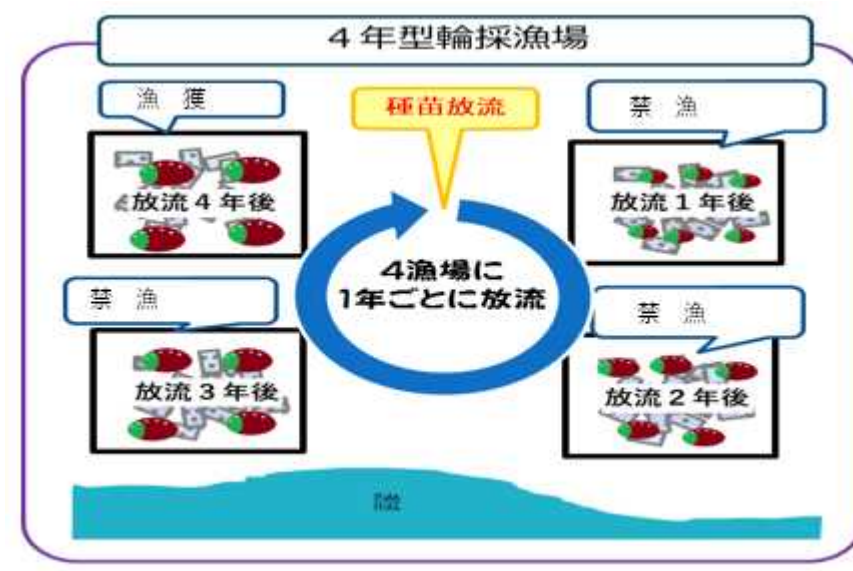
(図7) 白浜地区のアワビ生産金額(億円)と平均単価(kg/円)(輪採漁場を除く。  
平成8年から令和元年までは南房総市の水産、令和2年度は白浜出張所調べ。)



(図8) 白浜地区のアワビ一般漁場と輪採漁場の生産量(トン)



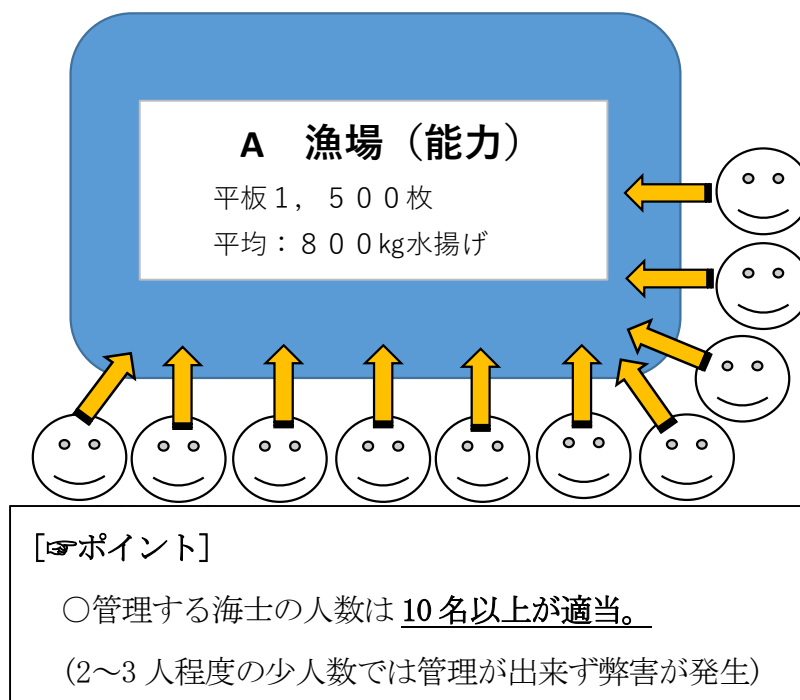
(図9) クロアワビの殻長と年齢の関係 (川口一般漁場)



(図10) 4年型輪採漁場の概念



(図11) 4年型輪採漁場の初水揚げの様子 (島崎地区)



(図12) 輪採漁場の管理人数の概念

(表1) 成績の良い漁場と悪い漁場の違い

	良い輪採漁場	悪い輪採漁場
参加者の人数	○常に10人以上の参加者がいる ○若手もいる	○年々参加者が減少している ○高齢者主体
新規参加希望者の受入	○積極的に受け入れている	○受け入れていない
取り上げ方法	○参加者全員で取り上げ ○若い海士が中心となって、平板起こしを行っている	○都合の付いた参加者だけで取り上げ ○平板をあまり起こさない(力がない)
取り残しの有無	○ほとんど無し	○多く取り残している
平板ならし	○取り上げ直後と種苗放流前に行う ○台風通過後後にも実施	○行っていない
種苗放流方法	○スキューバ潜水で手撒き放流	○漁期中であれば、素潜り手撒き放流 ○冬場は船上からのばらまき放流
種苗の成長確認	○1年に1~2回実施して確認	○確認していない



**(図 1 3) 漁場管理が不十分な輪採漁場の様子**

漁場管理が不十分な漁場は平板が垂直に立っていたり、埋没したり、板同士が固着してアワビの生息場所として不向きな状況がみられる。

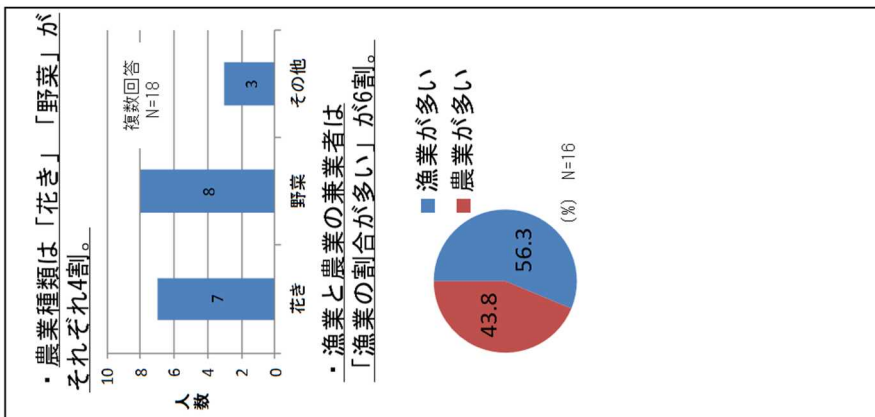
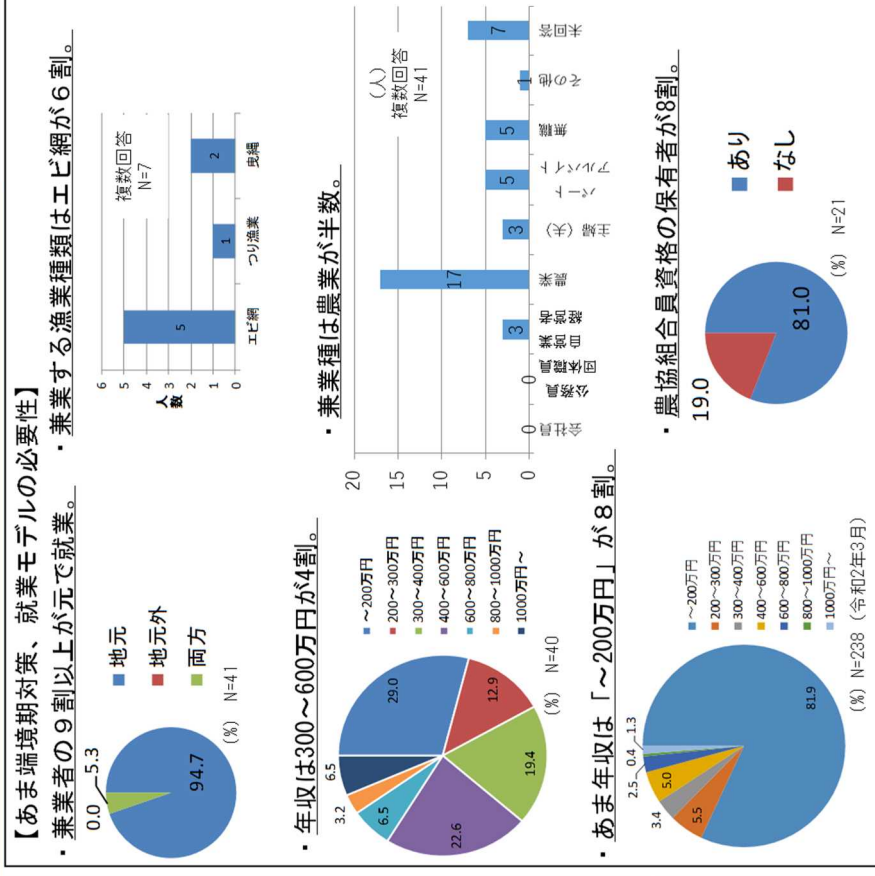
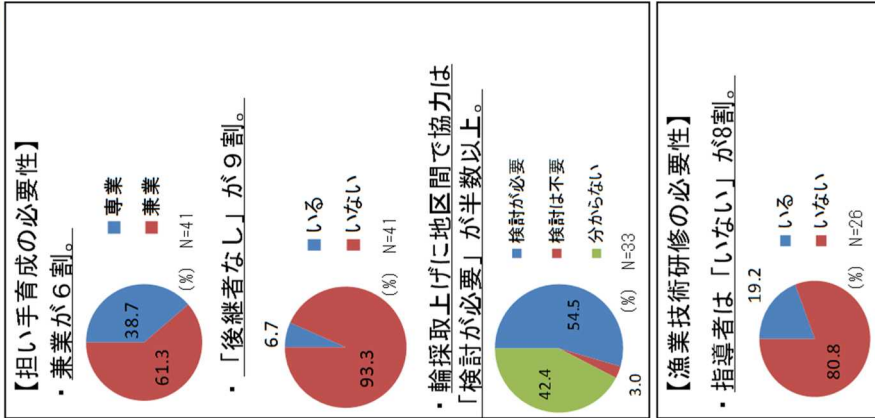


**(図 1 4) 先輩潜水士による潜水作業の訓練指導の様子 (島崎地区)**



# 令和元年10月 あまアンケート結果

令和2年10月3日  
 再安厚漁業協同組合白浜出張所 2階 大会議室  
 館山水産事務所 改良普及課



(図15) 令和元年10月 あまアンケート結果

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
農業	→								←			
漁業					←			→				

(図16) 漁業・農業分野の繁忙期の違いを利用した就業スタイルのイメージ

取組	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
<b>【視点1】 白浜地区の輪採漁場の継続的な維持管理および適切な種苗放流</b>					
1 スキューバ潜水の導入による作業効率の向上	潜水士の育成	潜水士の育成	潜水士の育成	潜水士の育成	潜水士の育成
2 各地区間の協力体制や陸あま、准組合員等の加入による人員確保の検討		協力体制の検討	協力体制の実施	協力体制の実施	協力体制の実施
3 種苗放流時期や方法の適正化	輪採漁場の管理計画策定	輪採漁場の管理計画の実践	輪採漁場の管理計画の実践	輪採漁場の管理計画の実践	結果とりまとめ、課題整理
<b>【視点2】 多様なあま漁業就業希望者の受け入れ体制の整備（就業モデル・育成）</b>					
1 あま漁業就業希望者への魅力の配信・共有					
(1) 就業相談会等を活用した情報提供（10歳代後半～60歳代程度）	就業相談会参加の検討	就業相談会参加	就業相談会参加	就業相談会参加	就業相談会参加
(2) あま漁業の体験や学習機会の提供（10歳代～30歳代程度）		インターンシップ、短期漁業技術研修の受け入れ	インターンシップ、短期漁業技術研修の受け入れ	インターンシップ、短期漁業技術研修の受け入れ	インターンシップ、短期漁業技術研修の受け入れ
2 あま漁業就業希望者の育成					
(1) 先輩あま漁業者による操業技術指導、実技講習等の実施			中期漁業技術研修の受け入れ	中期漁業技術研修の受け入れ	中期漁業技術研修の受け入れ
(2) 漁業権や漁協についての知識等の習得支援の実施	磯根漁業研修の受け入れの検討	磯根漁業研修の受け入れ	磯根漁業研修の受け入れ	磯根漁業研修の受け入れ	磯根漁業研修の受け入れ
3 あま漁業就業希望者のあま端境期対策、就業モデルの提示					
(1) 地域コミュニティへの順化の支援（主に移住後の日が浅い漁業者）		磯根漁業研修の受け入れ	磯根漁業研修の受け入れ	磯根漁業研修の受け入れ	磯根漁業研修の受け入れ
(2) 生活面の支援体制の強化	住居支援策の検討	住居支援策の実施	住居支援策の実施	住居支援策の実施	住居支援策の実施
(3) あま漁業と兼業可能な他漁業や他業種への着業支援・雇用対策の推進					
①あま漁業以外の漁業への就業について		磯根漁業研修の受け入れ	磯根漁業研修の受け入れ	磯根漁業研修の受け入れ	磯根漁業研修の受け入れ
②農業を始めとした他業種への就業について	農業求人情報の提供体制の検討	農業求人情報の提供体制の検討	農業求人情報の提供	農業求人情報の提供	農業求人情報の提供
③漁協の加工場などを活用したあま漁業者の育成について	磯根漁業研修の受け入れの検討	磯根漁業研修の受け入れ	磯根漁業研修の受け入れ	磯根漁業研修の受け入れ	磯根漁業研修の受け入れ

(図17) ロードマップ